

市 全国大会・九州大会出場おめでとう！ 市内の3小学校が快挙！



全国制覇を目指す三角小学校

5月19日・20日に八代市で小学生ソフトボールの熊本県予選が開催されました。14年ぶり3回目の優勝を果たした三角小学校は、全国大会（8月4日～山口県下関市）に県代表として出場。準優勝の松合小学校とベスト4に入った青海小学校は、九州大会（7月28日～宮崎県日向市）に、それぞれ県代表として出場します。

優勝した三角小学校の石川剛士主将は「全国優勝目指して頑張ります」と力強く語りました。



4年連続九州大会出場の松合小学校



初戦突破だ！青海小学校

第2回宇城市三角B&G会長杯ミニバスケットボール大会

三角 B&G 会長杯ミニバスケットボール大会が6月2～3日、B&G 海洋センターと青海小学校体育館で開催されました。

宇城市内13校の全ての小学校ミニバスケットボール部が参加。主催者挨拶では教育委員会の尾崎基雄次長が「みなさんの輝いたプレーを期待しています」とあいさつしました。

各試合とも熱戦が展開され、決勝は当尾小学校と豊福小学校の対戦となり、当尾小学校が42対6で連続優勝を飾りました。

【優秀選手賞】

当尾小学校 山下莉奈さん
豊福小学校 漆島菜央さん
海東小学校 福田彩夏さん
松合小学校 千原奈々さん



大人顔負けのプレーが展開されました



エビが釣れてうれしそうな豊野小の児童

豊野小でエビ釣り体験

豊野小学校では、昨年11月まちおこしグループ「ゆめ、豊野塾！」（伊藤家次会長）や自然環境保全に取り組んでいる村田幸博さん（熊本市）の協力で、プールに川テナガエビを放流しました。これは、水俣での環境学習の発展的な取り組みとして、川の生物に視点を当てた自然環境学習の一環。

プール開きを目前に控えた6月7日、6年生46人はプールでエビ釣りを楽しみました。

子ども達は、エサのミミズをこわごわ釣り針に付け、ミズゴケで濁る水中のエビめがけて釣り糸を垂れ、「当たり」が来る時を息を潜めて待っていました。やがて、「釣れたー」の歓声が

あちらこちらで上がり、わずか30分間のうちに数十匹の釣果がありました。

村田さんはエビやスッポン・ウナギなど、川の生き物について説明した後、子ども達に「悩んだ時は自然に帰ってみよう。自然は多くのことを教えてくれる」と話しました。

松橋小学校5年生が農業体験

5月24日、松橋小学校の5年生83人が稲の種まきを体験しました。これは日本の農業を学ぶ社会科学習の一環で、地元農家や宇城地域振興局・市役所農政課の協力で種まきから収穫までの米作りを実体験するものです。

この日は、振興局・農業普及指導課の高村昭彦参事が種まきの方法を説明し、農業後継者グループの4H

クラブ（山川慎太郎会長）のメンバー7人が実際に指導に当たりました。

子どもたちは9班に分かれて、うるち米の種もみをまき、5年3組の教室の南側に苗床を完成しました。今後は、6月に小学校近くの水田に田植えを行い、秋に収穫する予定です。



秋の収穫が楽しみ！

第57回小川地区中学生野球大会



準優勝の表彰を受ける坂本主将

6月9日～10日に稲川グラウンドと小川工業高校グラウンドでありました。

好投したエース橋本君

この大会は、現在、ソフトバンクホークス総合コーチの秋山幸二さんら多くのプロ野球選手を輩出している伝統ある大会で、その歴史は半世紀以上にもわたります。

決勝は小川中と砥用中との対戦となりました。小川中野球部は、このところメキメキと力をつけてきており、優勝候補の砥用中と白熱した好勝負を展開。両チーム、一歩も引かない接戦が展開されましたが、最終回にホームランを打たれ、2対3の1点差で涙をのみました。

小川中学校の決勝進出は10年ぶり。松橋中学校は3位でした。